

平成 29 年 9 月 教育委員会会議録 第 13 回

- 1 日 時 平成 29 年 9 月 19 日（火） 10 時 30～12 時 10 分
- 2 場 所 教育長室
- 3 出席者 教育長 太田耕樹  
委員 松村英勝・埴本友造・平沖純子・向井智恵
- 4 出席職員 河本教育次長・新谷学校教育課長・福嶋生涯学習課長・藤原主幹  
肥田係長（記録者）

開会 太田教育長 開会を宣する。

1. 教育長報告

(1) 全国学力調査について

全国学力・学習状況調査に係る新聞記事や資料抜粋により、概要説明。

2. 議題

(1) 報告・協議 1： 9 月議会定例会（一般質問、補正予算、決算審査特別委員会）  
について

河本教育次長から、一般質問、答弁、発言要旨により、概要を説明。

(2) 報告・協議 2： 全国学力・学習状況調査及び広島県「基礎・基本」定着状況  
調査の結果について

藤原主幹から、各校の結果一覧等により、概要説明。

(埴本委員)

「基礎・基本」定着状況調査における平成 26 年度の 5 年生は、平成 29 年度の中学 2 年生であるが、通過率が大きく下がっている結果となっているが、現段階で、何か対策は考えているか。

(藤原主幹)

坂町では全国と広島県の学力調査とは別に町独自で学力調査を全学年対象として行っている。小中学校の学年により実施時期は違うが 12 月と 1 月に行っており、当該年度における学力定着状況を検証している。埴本委員の言われる学年については、1 学年の 1 月に行った学力調査において、数学の力が定着していないことが判明し、2 月から 5 月にかけて、T.T. 授業など取り組んできたが、上がっていない結果となった。教職員の取組の検証を行い、教職員個々の問題としてではなく、全体的な課題と捉え、取り組んでいきたい。

(太田教育長)

全て、数字だけで表すのは非常に難しいと思う。これらの学力調査用に対策を講じれば、結果は顕著に表れる。特に対策内容が的中した時の数字は大きく上がる。しかし、それは本当の実力ではないと考えている。学力調査用に特化した対策はしないように言われているが、全国的に競争意識が強まっており、そうはいかない状況である。勉強ができるかできないかではなく、勉強をしようとしているかしていないか、勉強が好きか嫌い、また家庭環境での親子の関わりなど相対的に学力について考えないと、数字だけで捉えるのは非常に危ないと考えている。しかし、これらの学力調査結果を説明する場において、数字だけが一人歩きする傾向があるので、私たちも考えていなければならない事だと思っている。

(埴本委員)

学力調査の結果は、校長先生の取組次第で大きく違ってくると思う。過去には、学力調査用に特化して対策を講じない、本当の実力を出してもらいたい。という校長先生もいた。子どもたちの挨拶面や体力面、芸術面を伸ばしてくれる校長先生など、それぞれ校長先生には特色があり、それを発揮してもらっているので安心はしている。ただ、小学生から中学生に上がり、大きく数字が下がっていたので、どうしたのかと疑問に思った次第である。しかし、先ほど言われていた、坂町独自の学力調査については、とても良い事だと思う。

(藤原主幹)

年度始めに全国と広島県の学力調査があり、正式な結果は8月末以降となるため、その前に学校独自で分析し、それに基づき取組を始める。12月末と1月の坂町学力調査の結果により、2月初旬には年度の取組について検証ができる。また、その結果から年度内及び春休みに及ぶまで個々の学力定着への取組を行える。その年度内に着けるべき力は着けさせ、次年度へ繋がるよう取り組んでいる。そして新年度になり4月の全国学力調査へ、というサイクルで取り組んでいるのが坂町の特色である。このサイクルの途中には坂町教務主任・研究主任研究会にて検証し、次なる対策を協議している。その中で「この学校の、この授業を観察いただき、ご指導いただきたい。」という要望も出てくるので、その際はご協力いただきたい。

(平沖委員)

7月の教育委員会会議における図書館司書の報告では、坂中学校の図書室はあまり活用されていない、という内容があった。読書がこの学力調査の数字に直接影響される事はないかもしれないが、基礎的な国語力や文章力などは、どれだけ読書をしたか、どれだけ調べ学習等で本と接したかによるものがあると

思う。授業改善等の取組も重要であるが、読書から着けられる力というのは、一生を考えた上で、とても重要な力だと思う。国語の教員や学校司書教諭、また、小学校時代に子ども司書を経験した生徒を中心として、もう少し学校図書室を活用してはどうか。

(太田教育長)

生徒質問紙の結果からも、坂町の子どもは本を読んでいない傾向にある。学力向上に読書は有効だから「読書しろ」と学校で言われても簡単に改善はされない。家庭に対する啓発、学校における取組など総合的に捉えていかないといけない。生涯にわたり活用できる学力を着け、そして高めるために読書はとても重要だと思うので、あらゆる場面で読書の啓発をしていかなければならない。

(平沖委員)

例えば、調べ学習等で本を読んだ時、調べようとする項目だけでなく、その他の情報も目から入ってきて、知識を豊かにする効果がある。子ども司書経験者や職場体験での町立図書館体験者、また図書委員会を中心として、図書室の活用を促進する環境づくりをしてもらいたい。

(松村委員)

私は町立図書館をよく利用させていただいているのだが、最近中学生の利用者が増えてきているように感じる。良い傾向だと思う。教育長が言われるように、総合的な視点から読書の啓発を進めていかなければならない。また、坂町教務主任・研究主任研究会の取組には、私たちが協力したいので、授業観察の依頼があれば日程調整をお願いします。

### 3. その他

- (1) 広島県市町教育委員研修会について  
新谷学校教育課長から、研修会日程の確認。
- (2) 坂町就学時健康診断について  
新谷学校教育課長から、概要説明。
- (3) 教職員の視察研修について  
藤原主幹から、概要説明。
- (4) 坂町立小学校体育記録会等について  
新谷学校教育課長から、概要説明。
- (5) 第27回広島ベイマラソン大会、町内体育大会等について

福嶋生涯学習課長から、概要説明。

- (6) 「複式学級」に係る先進地視察研修について  
新谷学校教育課長から、概要説明。

(松村委員)

次回の教育委員会会議の日程を確認する。

10月17日(火) 場所・時間については未定

閉会 太田教育長 閉会を宣する。